

平成 28 年 3 月 吉日

各位

(公財) 日本ユニフォームセンター

「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う
ユニフォームに関するアンケート調査」報告書発刊のご案内

前略

いつも当法人をご支援いただき誠にありがとうございます。

さてNUCでは平成5年より、ユニフォームに関する意識を探るため、各種アンケート調査を行っております。今回はその一環として、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うユニフォームに関するアンケート調査」を実施いたしました。調査結果を報告書にまとめ、刊行することになりましたのでお知らせします。

この調査は 2020 年東京オリンピック・パラリンピックを 4 年後に控える中で、企業及び団体を対象にユニフォーム更新の準備状況と役割についての意識を明らかにし、ユニフォームの開発で参考に資するため実施したものです。NUCはこれまでもユニフォームに関する調査を継続的に行っていますが、オリンピック・パラリンピックに関連したアンケートは今回が初めてとなります。対象としたユニフォームは、生産、製造、各種工事用のワーキングウエア、一般事務、接客業務用などのオフィスウエア、ホテル、レストラン向けのサービスウエアです。

報告書の構成とプレスリリースにつきましては、別紙に記載しておりますので、ご参照ください。

「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うユニフォームに関するアンケート調査報告書」を申し込み希望の方は、別紙の申込書に必要事項を記入し、NUC事務局まで FAX またはメールにてお申し込みくださいませ。

取り急ぎご案内まで。

草々

各位

2016年3月吉日
公益財団法人日本ユニフォームセンター

ユニフォームの更新準備と役割に関する意識

アンケート調査

2020東京五輪。パラリンピック開催を前に

公益財団法人日本ユニフォームセンター（NUC、石井銀二郎理事長）は、「2020東京オリンピック。パラリンピック開催に伴うユニフォームに関するアンケート調査」の結果を報告書にまとめ、刊行することになりましたのでお知らせします。

この調査は東京五輪を4年後に控える中で、企業及び団体を対象にユニフォーム更新の準備状況と役割についての意識を明らかにし、ユニフォームの開発で参考に資するため実施したものです。NUCはこれまでもユニフォームに関する調査を継続的に行っていますが、オリンピック。パラリンピックに関連したアンケートは今回が初めてです。対象としたユニフォームは、生産、製造、各種工事用のワーキングウェア、一般事務、接客業務用などのオフィスウェア、ホテル、レストラン向けのサービスウェアです。

設問内容のうち前半は、ユニフォームの利用状況から始まって、東京五輪に関する関心度と期待、五輪ユニフォームに取り込んで欲しい要素、期待するデザインイメージ、開催に伴う企業業績への影響などです。後半は2013年に東京五輪の開催が決まった後の対応を聴いています。開催決定を契機にユニフォームの新規導入や既存ユニフォームの見直し状況とその必要性、それぞれの企業がユニフォームで重視する総合要素、デザイン要素とそのイメージを挙げてもらいました。最後は五輪開催にあたってのユニフォームの効用を尋ねています。

調査は全国の上場及び非上場企業のユニフォーム担当者ないし総務人事部の方々を対象にしました。また、企業は従業員500人未満と以上に分けて行ない、規模別の反応も探りました。アンケートは2015年7月から9月に掛け郵送方式で実施しました。回収率は全体で8.6%でしたが、業種別には農林、

漁業、医療、サービス業が平均を上回り約15%ありました。地域別では関東地方の46.5%が最も高く、次いで近畿地方18.4%、中部地方16.2%の順でした。

調査結果の概要でまず、ユニフォームの利用企業は建築業、運輸業、製造業を中心に全体として80%に達していました。業種別にはオフィスウェア、ワーキングウェア、サービスウェアの順になっています。

東京五輪に対する関心度合いは全体で95.5%と極めて高いものがあります。業種別には運輸業で最も高く、これに情報、通信業、建築業が並びました。また、期待している業種では金融、不動産業の93.7%がトップです。

五輪が企業業績に与える影響では、「プラス」「変わらない」「分からない」が、ほぼ三等分されました。調査段階と開催時期ではまだかなりの時差があるため、見通しや判断に戸惑っている様子が伺えます。

東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定したことによるユニフォームの導入、見直しについては「予定はない」が圧倒的に多く、なお決めかねている様子です。

オリンピックで日本選手団のユニフォームで取り込んで欲しい要素は、「日本の伝統を生かした民族的要素」「動き易さ」「先端に行くデザイン」のほか「国旗色を使ったオリジナル要素」が多くを占めました。期待するデザインも選手団のほかボランティア、案内サービスノユニフォームも含めて「日本らしさ」が大多数でした。

自社のユニフォームで重視する総合的な要素は、全体で「顧客に与える印象」が最も高く、これに「コスト」「社員の意見」「労働安全面」が続いています。重視するデザインでは、「動き易さ」を筆頭に「着心地」「色、柄」の順で、「清潔さ」にも重きが置かれています。

東京五輪とユニフォームの効用では、「クールジャパン」「日本文化」「親しみ」「企業の統一感」「おもてなし」が並びました。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

公益財団法人日本ユニフォームセンター

担当 ESH・技術研究グループ 研究担当 元木

TEL 03(3401)2111

FAX 03(3402)2667

《2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う
ユニフォームに関するアンケート調査》報告書の主な内容

I. 総論

II 調査結果（業種別・企業規模別・地域別・着用／非着用企業別）

＜調査概要＞

- 2-1 ユニフォームの利用有無
- 2-2 東京五輪に対する関心度と期待
- 2-3 オリンピックユニフォームに取り込んでほしい要素
- 2-4 オリンピックユニフォームを期待するデザインイメージ
- 2-5 2012年ロンドンオリンピックにおける好きな国の選手団の公式ユニフォームデザイン
- 2-6 東京五輪開催は企業の業績への影響
- 2-7 2013年に東京五輪開催決定後、ユニフォームの新規導入や既存ユニフォームの見直し状況
- 2-8 東京五輪開催に伴って、企業のユニフォームの新規導入や既存ユニフォームの見直しの必要性
- 2-9 自社のユニフォームを重視する総合要素
- 2-10 自社のユニフォームを重視するデザイン要素
- 2-11 自社のユニフォームに求められるデザインイメージ
- 2-12 東京五輪開催にあたってユニフォームの効用に対する認識

III まとめ

強い関心と期待

IV 資料編

- 4-1 統計データ
- 4-2 調査票

◆報告書の体裁

タイトル 《2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う
ユニフォームに関するアンケート調査》報告書

体裁 A4判約155ページ

定価 12,000円（税込）（会員価格10,000円）

発行日 2016年4月1日

＜本件に関する問い合わせ先＞

（公財）日本ユニフォームセンター
TEL 03（3401）2111
FAX 03（3402）2667

2016年 月 日

申込 FAX:03-3402-2667

E-mail : kenkyu@nuc.or.jp

(公財)日本ユニフォームセンター
意識調査担当係宛

『2020東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うユニフォームに関するアンケート調査』申込書

定価	12,000円(消費税・送料を含む)	申込冊数	冊
会員特別価格	10,000円(消費税・送料を含む)		

会社名			
部署名・役職	部署名	役職	
氏名			
メールアドレス			
TEL/FAX	TEL	FAX	
住所	〒		

振り込み方法を○でお囲みください。	郵便振替	銀行振り込み (請求書を発行いたします)
振込先	口座名義	公益財団法人日本ユニフォームセンター
	銀行振込先	三井住友銀行 赤坂支店 普通預金 6325117
		みずほ銀行 赤坂支店 普通預金 1591320
郵便振替	00140-2-97657	

●発送開始は4月1日以降を予定しております。

●購入ご希望の方は申込書をご記入の上、FAXまたはメール送信してください。

請求書または郵便振替票を発送いたします。恐れ入りますが振込み手数料は御社にてご負担下さい。

●ご入金を確認でき次第、報告書を発送いたします。

●ご注文後、1週間以内にお振込ください。1週間以上かかる場合はあらかじめご連絡ください。

●お問合せ先 公益財団法人日本ユニフォームセンター

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-4-21 赤坂パレスビル5階

TEL 03-3401-2111 FAX 03-3402-2667 E-mail kenkyu@nuc.or.jp